



先の大戦中、満洲開拓団として多くの日本人が大陸に渡りました。岐阜県では大野郡出身の人数が多かったと聞いています。

終戦を機に日本に引き揚げが始まった際に、大陸で生き別れとなった残留孤児がいます。日中国交が始まったのは、田中角栄総理の時でした。それから二、三年後(昭和五十六〜五十八年頃)、中国に残留していた子弟の日本帰国事業が始まり、新聞には孤児たちの当時の顔写真や名前、あるいは父母の名前、父母と離ればなれになった場所、その時の状況などが記事となっていました。

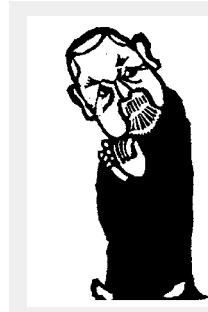
私はその残留孤児(会ったときは成人でした)の三人のお手伝いをしました。いずれも強くて深い印象を持ちました。共通していたのは父母や親族に「遇いたい願いの強烈さでした。今日、出遇ってお手伝いした三人のうち、一人の方の「遇いたい切なさ」についてお話しします。東小学校三年まで同じクラスにいた女性が私を訪ねてきました。「私の『おばさん』という人が突然中国から帰ってきた」と言い、事情を話してくれました。

一度もその『おばさん』のことを親からも親戚からも聞いたこともないし、無論会うのも初めて。とりあえず名古屋の空港に迎えに行きました。係の人から「この人です」と言われただけで、しかもその『おばさん』(五十七歳前後)は日本語が話せない。自分も中国語を知らない。空港から高山まで一言の会話もできずに

### 中国残留孤児 — 遇いたいという願い —

三島多聞

# 念じられ 照らされて



<略歴>  
1944年生まれ、岐阜高山教区高山1組真蓮寺。高山別院輪番。

支えあつて帰っていきました。遇いたい・知りたいという願いは、そこに言葉・いわれを聞き知ることがあつて初めて成り立つのだということを目の当たりにしました。あれからも四十ほどが経ちました。私の父も母も妻もすでに浄土。私はこの世に残留している。親鸞聖人の言葉が光です。

恋しくば南無阿弥陀仏ととなうべし われも六字のうちこそすめ  
ナムアマミダ仏  
ナムアマミダ仏

<現代の問題講座>  
フォトジャーナリスト  
やすだ なつき  
**安田 菜津紀 講演会**  
日時 **5月25日(日) 14時**  
(13時30分開場)  
テーマ アジア・太平洋戦争  
終結から80年 共に生きるとは何か  
— 難民の声、家族の歴史から考えた多様性 —  
会場 **高山別院** 参加費 **500円**

※チケットのお求めは高山別院事務所、お手次のお寺、ブックスアイオーまで  
※当日券もあります

支えあつて帰っていきました。遇いたい・知りたいという願いは、そこに言葉・いわれを聞き知ることがあつて初めて成り立つのだということを目の当たりにしました。あれからも四十ほどが経ちました。私の父も母も妻もすでに浄土。私はこの世に残留している。親鸞聖人の言葉が光です。

**第3回 聖典・聖教学習会のお知らせ**  
5月7日(水) 午後2時から  
(受付午後1時30分から)  
講師 **名和 達宣氏** (教学研究所所員)  
テーマ **宗祖親鸞聖人と『観経』**  
— 「是旃陀羅」問題をふまえて —  
会場 **別院会館2階 研修室**  
参加費 **500円**

さなひめ  
**佐奈姫忌法要**

日時: **6月26日(木)**  
午後1時30分から  
会場: **佐奈姫墓所・松本公民館**  
(高山市松本町)  
法話: **三島多聞氏**  
(別院輪番)

※別院から送迎があります。現地には駐車場がありませんので、参拝される方は午後1時までに別院事務所前に集合ください。

**女性研修会**  
6月25日(水) 午後1時30分から  
(受付午後1時から)  
講師 **不破 英明氏** (大垣教区圓龍寺)  
会場 **高山別院 本堂**  
参加費 **500円**  
ご参加のお申し込みはお手次のお寺まで

# 家族で過ごす

## 医療の現場で

### 「生きること」を学ぶ

岸上 仁<sup>10</sup>

人間であるが故の苦悩(4)

―意思とは何か

病気が進行したとき、さまざまな医療の選択が迫られる場合があります。食事が摂れなくなったとき、胃腸が栄養を摂れるようになり、呼吸がしにくくなったとき、人工呼吸器で呼吸を補助します。そういう治療について、前もって話し合っておくという、アドバンス(事前の)・ケア(治療)・プランニング(計画)(ACP)の機会を持つことが勧められています。人生会議とも呼ばれます。日本医師会の『終末期医療 ACPから考える』には、「患者さんの尊厳ある生き方を実現するためには、患者さんの意思が尊重された

医療及びケアを提供することが重要です」と書いてあります。確かにその人の意思を尊重するということは大切なことでしよう。しかし、「本人の意思」とは何なのかということを考えさせられることがあります。

あるとき、筋肉の難病で入院している方がおられました。徐々に呼吸の機能が低下してきました。ご家族と疎遠で、見舞いに来られたことは一度もありませんでした。そんな中で人工呼吸器はつけないという選択をされたのでした。確かにその人の意思ではありません。しかしそれは単純に「本人の意思」と言えるのでしょうか。病気の苦悩、介護の不安、家族がいない孤独、置かれている状況を問わずに、意思を尊重するということだけで尊厳を守ることになるのでしょうか。意思を尊重すると言った途端、「その意思させているもの」を見なくなるのではないのでしょうか。「生きたい」という意

欲を妨げているものを見ずに、意思を尊重するというのは、むしろ冷たく突き放してしまうことではないのでしょうか。私たちは生きる意味を見失ったとき、生命は生きているのに、いのちが生きられなくなる――人間はみなそういう問題を抱えているということを確かめてきました。喜びだと信じてきたものが、周りを見渡してみても何もありません。人工呼吸器の選択を迫られたらどうでしょうか？どちらを選んでも生きていけない、すでに今空しく時間が過ぎていく、未来が見えない、そういう中で選択するわけです。だから、長く苦しむのはいやだからもういい、周りに迷惑をかけるからつけない、などという選び方にもなるわけです。

さらにいえば、社会の価値観が、「生きたい」という意欲を妨げるといっても言えます。たとえば、「人に迷惑をかけてはいけない」という社会と、「人は迷惑

をかけて、たすけられて生きていくものだ。私も迷惑をかけるから、あなたも迷惑をかけてよい」という社会とでは、たすけが必要ない身体障害をもったとき、どちらが生きやすい社会でしょうか。社会が有用性で人間を見て、「尊厳性」を見失っているなら、社会が「生きたい」という意欲を妨げるということもありえます。逆に有用性ではなく、その人がその人として光るものを見る眼差しに出会ったとき、「生きたい」という意欲が呼び覚まされることもあるわけです。

尊厳とは、生きる意味が無限に開かれていることだと私は思います。だから、生きる意味が閉ざされるような「意思」の中にいるときは、意思を尊重するという前に、その意思させているものを一緒に確かめる場所が必要なのではないのでしょうか。そして、生きる意味が閉ざされたところから、再び生きることが始まるような出会いがある場所とは――それが「浄土」という言葉の大事な課題です。

「生きる」という意欲を妨げるといっても言えます。たとえば、「人に迷惑をかけてはいけない」という社会と、「人は迷惑

## 別院定例法座

午後1時から

### 3日 三日のご坊

5月 講師 **樋口 博之氏**  
(常照寺住職)

講題「真宗とお斎」

6月 講師 **江馬 雅臣氏**  
(賢誓寺住職)

講題「仏法聞き難し」

### 28日 親鸞聖人ご命日法座

5月 講師 **三島 見らん氏**  
(西念寺住職)

講題「仏教は何処にあるのか」

6月 講師 **野崎 尚齊氏**  
(西正寺住職)

講題「煩い悩む」

## ひだご坊



URL: <https://hidagobo.jp/sermon/>

5月1日から6月30日の期間は下記の方々の法話を随時掲載してまいります。

・小長谷 智行氏 (大徳寺住職) ・三枝 正尚氏 (随縁寺住職)

・高島 一成氏 (常徳寺住職) ・長谷 顕信氏 (蓮光寺住職)

## 大谷婦人会 定例法座

5月11日(日)

講師 三島多聞 別院輪番

6月11日(水)

講師 三島多聞 別院輪番

いずれも午後1時から

## お墓のことお気軽にご相談ください お墓の「困った」を解決します

お墓の新設 リフォーム クリーニング 墓じまい 各種石工事

石のことなら **株式会社 奥田石材**  
OKUDA

TEL 0577-33-9601 [本社] 高山市新宮町2498-1

TEL 0577-32-1483 [事務所・展示場] 高山市国府町上広瀬137-1



仏壇ミュージアム  
「伝統と創意」  
近日オープン

仏壇工芸 **ほりお**  
高山市三福寺町369-7  
TEL 0577-33-6686

## お墓の新設 修繕

雪や凍結などで、お墓のズレ傾きなどキレイに修復します。



**高山墓石店**  
TEL 090-7677-4883  
〒506-0814 高山市滝町1362  
<https://www.takayamaboseki.com/>

自主出版 **久寿玉**  
KUSUDAMA  
あなたを一冊の本に  
まともませんか？  
平瀬酒造店  
TEL 34-0010

**山都印刷株式会社**  
高山市西之一色町二丁目九〇一八  
TEL 0577-33-1149

**慈愛・共なる灯り**  
高山電気工事株式会社

**ブックス・アイオー**  
安田菜津紀 書籍フェア実施中  
TEL 0577-34-7668

お仏壇 仏事のお悩み  
LINEで簡単相談受付中  
**工匠館**  
桐生町2-105  
0577-35-3038

**響**  
3月10日発売  
法話冊子第二弾!!  
手に取りやすく読みやすい好評のミニ法話集「響」第二弾ができました。  
ミニ法話を9話収録  
2000円

**保険タイム**  
〒506-0059 高山市下林町916-1  
※ひだし 西高校前支店となり  
TEL 0577-35-1005